

平成22年度町教育委員会の事務事業の外部評価結果をお知らせします

教育委員会では、平成22年度に実施した事業の事務の管理と執行の状況について、学識経験者で組織する「城里町教育委員会外部評価委員会」による点検及び評価を行いました。この点検及び評価は、より効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆さんに対する説明責任を果たしていくことを目的に実施するものです。

【評価対象事務事業】

- 平成22年度に実施した事業のうち、平成21年度外部評価の指摘事項を参考に抜粋した14事業
- 幼児教育・学校教育の充実／7事業（ALT設置事業、TT非常勤講師事業など）
 - 生涯学習・生涯スポーツの推進／6事業（町民運動会、ふれあいの船事業など）
 - 芸術文化の振興／1事業自主事業）

【評価方法】 妥当性・有効性・効率性の3つの項目で、それぞれ4段階で評価しました。

【評価内容】 ※4は評価が高く1は評価が低い。

今回対象とした14事業のうちおよそ半数の7事業についてはすべての項目が最高値で、一定の成果を残しており順調であると評価されました。この結果を受け、今後の事業の取り組み方針を検討していきます。

※報告書の詳細については、城里町ホームページ(<http://www.town.shirosato.lg.jp/>)をご覧ください。

問合せ 教育委員会事務局（常北公民館内） ☎029 - 288 - 7010

妥当性	有効性	効率性	事業数
4	4	4	7
4	3	4	1
4	3	3	1
3	3	3	2
3	2	2	1
2	2	1	1
1	2	2	1

文芸しるさと

短歌

小さき手と皺の手と一瞬重なり
て幼らとしばしカルタ取り合ふ
渡辺千紗子

昨日小春今日こがらしと変化
する天気衣服を還るにとまどふ
山形 式妙

柿の実が凍てつき残る枝先を
ゆらし啄む鳥の真冬日
大森 久子

氷点下耐えて花咲く福寿草の
「がんばる花」へひかり集まる
青柳 京子

真心のこもるおせちは嫁の料理
頂きますはこころの絆
杉山みちこ

リンリンと羽根鈴鳴らし男孫
来たり八幡宮の御守護を持ちて
所 美恵子

南天の紅き一房ながめつつ積
る白雪スコップでかく
鶴田 すが

ガサガサと落葉さらいて牛を
飼う夫の生き甲斐我も後押す
藪部 光子

亡き父のカシコミカシコミねん
ごろに神に任せしまぶたに映る
富田 欽子

冬ざれの残る庭端に春告ぐる
黄色の色散らし福寿草咲く
枝 不美

心待ちしたる便りも来ぬまま
に幾日か過ぎ今日は立春
片見 和枝

福寿草は光の春にめぐまれて
こがね色なす花はかゞよう
川上千代子



音もなく降り来る雪の色冴え
て弥生（ひとひさのゆき）の一日細雪舞う
島 愛子

デンマークのミュンヘンを発
ち帰国の孫時差ボケ笑みつつ
地球儀で説く
多田志保子

月一度帰省せし娘のやさしき
に淋しき心いやされ和む
坪井きよ子

長かりし一年を経て三月は震
災の記憶と共に巡り来
萩谷登喜子

早晩の海に出漁の船見えて被
災地相馬の気迫頼もし
富田佐智子

俳句

行楽日立木も芝も芽吹きけり
いそべきよ
飯田 勇一

春炬燵どっぷりと父沈みをり
海風いで真つ赤な木瓜の花開く
仲田まちゑ

流木の光る砂浜夕雲雀
森 静江

水揚げの鱗きらめき春の雲
鯉淵寿美恵

寒北斗凜然と矢を放ちけり
今瀬多代美

永らへて良きことのあり難あ
られ 寺門 孝子

朝市や水の滴る三葉芹
飯村 昭子

穂の芽は棘に囲まれ育ちけり
袴塚よし子

どこへ足向けてもまぶし春の雪
竹内 幸子

咳ひとつ残して過ぎし春田道
一杉 常子

春の風遠廻りして帰りけり
瀬谷 博子

ホロルの湯広き見とおし春の雪
岩下 金司

川柳

老梅に四温の雨や花三分
田口 勝元

うめの木の枝の蕾が笑いそう
青木新三郎

河川敷魚もやつてるウオキング
飯村 孝一

